

アオドウガネ

コガネムシ科



街中でもよく見られるコガネムシのなかまで、からだはずんぐりと丸く、緑色で少しつやがあります。様々な植物を食べ、葉を穴だらけにしてしまいます。

さつえい日：2022年7月13日

カナブン

コガネムシ科

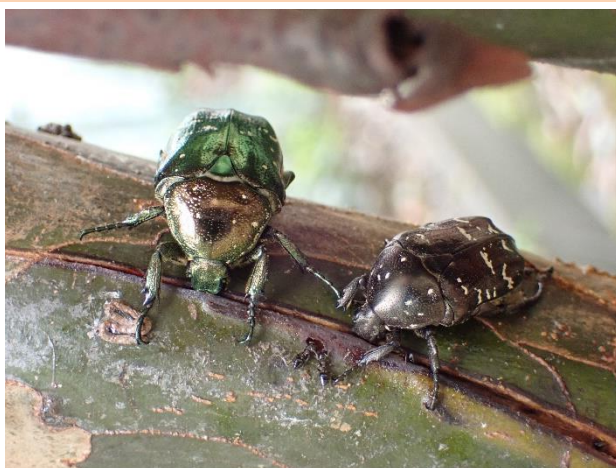


顔は四角く、からだは緑色～茶色で、金属のようなつやがあります。クヌギなどの樹液を食べに集まりますが、夜に街灯に集まって来るともあります。

さつえい日：2021年8月10日

シロテンハナムグリ

コガネムシ科



カナブンと似た見た目ですが、白い点々があるのがとくちょうです。樹液や果実を食べに集まることが多いです。

さつえい日：2021年8月11日

コアオハナムグリ

コガネムシ科



大きさは 1.5cm ほどでシロテンハナムグリより小さく、からだには細かい毛がはえています。花粉を食べるため、花にとまって花粉まみれになっているすがたがよく見られます。

さつえい日：2022年5月5日

キボシカミキリ

カミキリムシ科



黄色い点々もようがあるカミキリムシです。幼虫も成虫も、クワヤイチジクを食べます。藤井寺市はイチジクの木が植えられているところが多いので、見つけやすいかもしれません。

さつえい日：2020年9月27日

ジョウカイボン

ジョウカイボン科



カミキリムシに似ていますが、どちらかというところホタルに近いなかまです。初夏によく見られ、肉食性で他の昆虫を食べます。名前は平清盛の法名(ほうみょう)からつけられたと言われています。

さつえい日：2021年5月24日

ナナホシテントウ

テントウムシ科



7つの黒いもようがとくちょうのテントウムシです。アブラムシを食べる益虫(えきちゅう)として知られています。

さつえい日：2020年9月15日

ニジュウヤホシテントウ

テントウムシ科



28個の黒いもようがとくちょうのテントウムシです。ナナホシテントウと違って草食性で、ナス科の植物を食べます。

さつえい日：2020年9月15日

ダンダラテントウ

テントウムシ科



ナナホシテントウよりひと回り小さいテントウムシです。赤いもようが2つ、または4つあるものがよく見られますが、もようは地域により変化があるようです。

さつえい日：2022年7月13日

モンクチビルテントウ

テントウムシ科



ダンダラテントウよりさらに小さいテントウムシで、その大きさは2～3mmほどです。4つの黒い丸いもようがあり、全体に白い細かい毛がはえているのがとくちょうです。

さつえい日：2022年8月10日

ウリハムシ

ハムシ科



ハムシは、漢字では「葉虫」と書き、おもに植物の葉を食べる甲虫(こうちゅう)のことをいいます。このハムシは、名前のおりキュウリやカボチャなどのウリ科の植物を食べます。

さつえい日：2022年7月15日

キバラルリクビボソハムシ

ハムシ科



ツユクサを食べる、るり色のからだ美しいハムシです。この写真では分かりませんが、腹の先が黄色いです。

さつえい日：2021年11月18日

セイヨウミツバチ

ミツバチ科



日本には、セイヨウミツバチとニホンミツバチの2種類のミツバチがいますが、お腹がオレンジ色なのがセイヨウミツバチです。飼育されているものがほとんどで、野生化したものはいないと言われています。

さつえい日：2022年5月5日

クマバチ(キムネクマバチ)

ミツバチ科



胸に黄色い毛がはえている、ずんぐりした見た目のハチです。大きいハチですが性格はおとなしく、つかまえようとしないかぎり、さされることはありません。

さつえい日：2021年8月5日

タイワンタケクマバチ

ミツバチ科



中国からインドにかけて生息するクマバチで、2006年に日本ではじめて記録された外来種(がいらいしゅ)です。かれた竹に穴をあけて巣を作ります。クマバチとちがって全身が黒く、黄色い毛がはえていません。

さつえい日：2021年8月5日

トモンハナバチ

ハキリバチ科



腹に黄色いもようが 10 個あるため、名前にトモン（＝十紋）とついていますが、それはメスだけで、オスには黄色いもようが 12 個あります。ヨモギなどの葉の綿毛を集めてはこび、巣を作ります。

さつえい日：2022 年 7 月 7 日

バラハキリバチ

ハキリバチ科

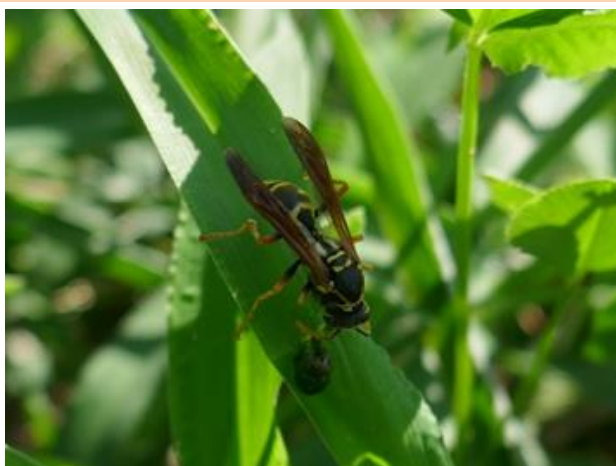


名前のとおり、バラなどの葉を丸く切り取ってはこび、巣を作ります。からだの色は黒っぽく、背中に茶かっ色の毛がはえています。

さつえい日：2022 年 7 月 13 日

フタモンアシナガバチ

スズメバチ科



腹に 2 つの黄色い斑紋(はんもん)があります。この写真は、他の虫をつかまえて、幼虫に食べさせる肉だんごを作っているところです。さされることもあるので、あまり近づかないようにしましょう。

さつえい日：2020 年 9 月 15 日

セグロアシナガバチ

スズメバチ科



日本にすむアシナガバチの中でもっとも大きく、黄かっ色のもようがとくちょうです。さされることもあるので、あまり近づかないようにしましょう。

さつえい日：2023年9月12日

コガタスズメバチ

スズメバチ科

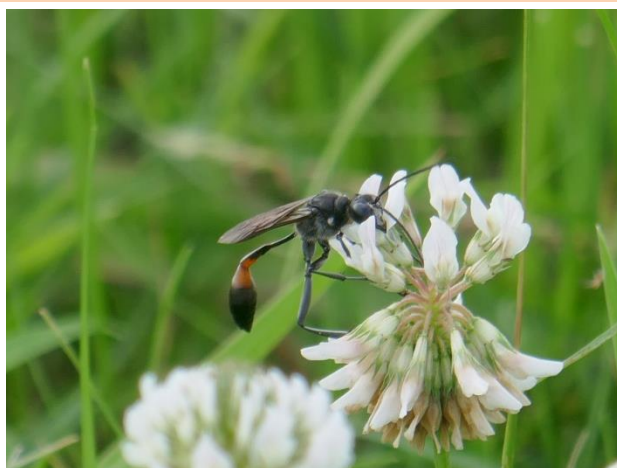


スズメバチのなかまにさされると死にいたる場合もあり、とても危険です。成虫や巣を見かけたら絶対に近づかないで、その場からそっとはなれるようにしましょう。

さつえい日：2020年9月15日

サトシガバチ

アナバチ科



狩りをするハチとして知られ、地面に穴をほって巣を作り、そこにつかまえたガなどの幼虫をはこんでたまごを生みつけます。細長いからだごとくちょう的です。

さつえい日：2022年7月7日

ヒメハラナガツチバチ

ツチバチ科

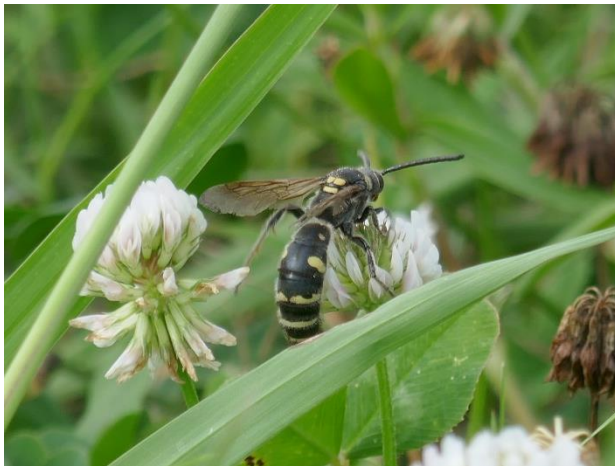


ツチバチは、土の中にいるコガネムシなどの幼虫にたまごを生みつけるハチのなかまです。ヒメハラナガツチバチは、腹の黄色いおび状のもようと、細かい毛がはえているのがとくちょうです。

さつえい日：2022年7月7日

オオモンツチバチ

ツチバチ科

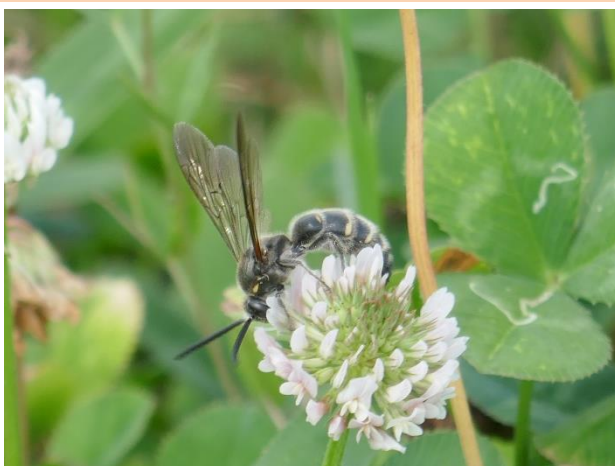


ツチバチのなかまで、背中と腹に黄色い大きい斑紋(はんもん)があるため、この名前がつきました。

さつえい日：2022年7月7日

コモンツチバチ

ツチバチ科



他のツチバチによく似ていますが、腹のもようがヒメハラナガツチバチのようなおび状にならない点や、オオモンツチバチのような背のもようがない点で見分けます。

さつえい日：2022年7月7日、

キンケハラナガツチバチ

ツチバチ科



ほかのツチバチとくらべて、毛やはねの色が金色がかっているのがとくちょうです。

さつえい日：2023年9月12日

ルリチュウレンジ

ミフシハバチ科



1 cm くらいの大きさの、光沢のある青っぽい色をしたハバチのなかまです。ハバチとは、幼虫が植物の葉を食べるハチのなかまのことで、ルリチュウレンジの幼虫はツツジの葉を食べます。

さつえい日：2020年9月15日

カタマルヒラアシキバチ

キバチ科



キバチとはハチのなかまのことで、木の中にたまごを生み、そこから生まれた幼虫は木を食べて育ちます。カタマルヒラアシキバチは春に見られることが多いキバチです。

さつえい日：2022年5月5日

アミメアリ

アリ科



3mm ほどの大きさのアリです。決まった巣を作らず、食べ物がなくなると、たまごやさなぎをくわえて運び、別の場所に引っこしすることが知られています。

さつえい日：2021年5月24日

スキバツリアブ

ツリアブ科

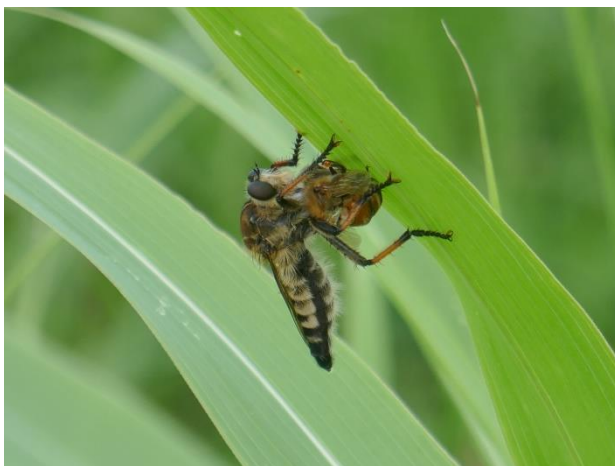


ツリアブは、飛びながら空中にとまっているすがたが下がり下げられているように見えるため、その名がつかまりました。スキバツリアブは、黒いからだに白～黄色っぽい毛が生えるのがとくちょうです。

さつえい日：2023年9月12日

シオヤアブ

ムシヒキアブ科



2～3cm ほどの大きさで、ほかの昆虫をつかまえて食べる肉食性のアブです。この写真も、ほかの虫を食べているところです。オスは、腹の先に白い毛がはえています。

さつえい日：2022年7月7日

アオメアブ

ムシヒキアブ科



シオヤアブと同じく、肉食性のアブです。からだは茶かっ色で、目が緑色なのがとくちょうです。

さつえい日：2022年7月7日

ミズアブ

ミズアブ科



お腹に黄色いもようがあるのがとくちょうです。水田やため池などの水辺の近くにすむアブですが、温泉にもすむことができるそうです。

さつえい日：2023年6月7日

アシナガバエのなかま

アシナガバエ科



5mm ほどの大きさのハエのなかま
で、小さいながらも金緑色のからだ
が美しいです。葉の上を早足で歩いて
いるすがたがよく見られます。

さつえい日：2022年7月13日

クマゼミ

セミ科



日本最大級のセミです。「シャーシャーシャー」と大きい声で鳴きます。暖かいところに住むセミで、関西より南の地域では多く見られますが、関東より北の地域では数は少ないようです。

さつえい日：2021年8月5日

アブラゼミ

セミ科



茶色いはねのセミです。はねがとうめいでないセミは、世界的にはめずらしいようです。「ジュージリジリジリ」と鳴く声が油であげているような音に聞こえるので、アブラゼミという名前がついたとか。

さつえい日：2021年7月21日

ニイニイゼミ

セミ科



大きさが3～4cm くらいと、クマゼミやアブラゼミよりも小さいセミです。はねにはとうめいの部分と茶色い部分があります。鳴き声は「チューーシューー」と聞こえます。

さつえい日：2021年7月14日

ツクツクボウシ

セミ科



その名のとおり、「ツクツクボーシ、ツクツクボーシ」と鳴くセミです。木の多い場所にすみ、夏の終わりから秋のはじめにかけて、その声をきくことが多くなります。

さつえい日：2023年9月12日

キマダラカメムシ

カメムシ科



2cm ほどの大きいカメムシで、黄色の点々もようがとくちょうです。サクラなどの木の幹をよく歩いています。

さつえい日：2021年7月29日

ブチヒゲカメムシ

カメムシ科



触覚（ヒゲ）が白黒のぶちもようであることからこの名前がつきましたが、からだのぶちにも白黒のぶちもようがあります。マメ科やキク科植物のしるをすいます。

さつえい日：2020年9月15日

マルカメムシ

マルカメムシ科



5mm ほどの大きさの、茶色くて丸いカメムシです。くさいにおいを出すことで知られていますが、自分のおいが原因で死んでしまうこともあるようです。植物のクズが好物です。

さつえい日：2022年7月13日

ホソヘリカメムシ

ホソヘリカメムシ科



茶色くて細長いカメムシです。うしろ足が長く、飛ぶすがたはハチに似ています。

さつえい日：2022年5月5日

ホソハリカメムシ

ヘリカメムシ科



1cm くらいの大きさで、イネ科の植物のところでよく見られます。胸のところから、左右にトゲが出ているのがとくちょうです。

さつえい日：2020年9月3日

ヒメマダラナガカメムシ

マダラナガカメムシ科



赤と黒のもようがきれいなカメムシです。個体(こたい)により、赤い部分のほうが広がったり、黒い部分のほうが広がったり、もように変化があるようです。

さつえい日：2021年11月18日